

第5回定例会

特別史跡 大湯環状列石

「北海道・北東北の縄文遺跡群」

世界遺産登録に向けた意見書提出を可決

平成30年第5回定例会

が5月29日（火）から6月21日（木）までの24日間の日程で行われ、報告3件、議案12件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案は、特別史跡大湯環状列石を構成資産とする「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた意見書提出などを含め、4件について、原案のとおり可決しました。



大湯環状列石（万座）

第5回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、8ページに掲載しております。

主な議案の審議内容

平成30年度鹿角市一般会計補正予算について

質問 松館しほり大根が地理的表示登録されたことだが、今後現れる効果について伺う。

答弁 今後、PR活動として、収穫体験、そばつこ祭りでの提供、のぼり旗やはんてん等の作製、市内飲食店や首都圏でのサンプル提供を行う予定としており、これらのPRにより、認知度や価格に反映されていくものと考えております。

国連食糧農業機関の報告によると、このような登録製品の価格は、登録前と比べて2割から5割の価格上昇があるとのことであり、地域振興へ大きく寄与するものと考えております。

そのほかの地理的表示登録による効果として、生産者の生産意欲が向上するとともに、加工業者・小売業者との品質開発や販売促進の連携強化に結びつくこととなり、また、産品が社会的評価を受けた知的財産として保護されることにより、国が地理的表示の不正使用を取り締まりを行うこととなるため、訴訟等の負担なしに、地域独自のブランドを守ることで可能となるなど、経済効果以上の成果が期待できると考えております。

質問 関係人口創出モデル事業と鹿角観光ファン並びに準市民制度との関連について伺う。

答弁 鹿角観光ファンは、鹿角にゆかりのある方々や、観光に来てくださる交流人口のうち観

光ファンとなり得る方々を指しますが、関係人口は、地域や地域住民と多様な形で関わりながら地域活性化に支援いただける方々のことを指し、今後は「鹿角家（かづのけ）」として、一つの大きなネットワークを構築したいと考えております。また、準市民制度とは近い考え方がありますが、関係人口において、鹿角出身者以外の方々も含めて鹿角を訪れていただき、農業体験や祭りへの参加などを通して支援いただきたいと考えております。

質問 十和田八幡平駅伝に女子の部が創設されることに伴い、テレビ放送に係る経費が追加されることだが、その詳細について伺う。

答弁 大会本番では、男子のレースと女子のレースが同時に始まるため、テレビクルーの人数も多く必要となり、広告料を追加するものであります。

平成30年第5回定例会

では、請願2件、陳情1件を審議しました。結果は次のとおりです。

議会へ提出された

請願・陳情審議結果

請願

《採択》

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書提出についての請願

陳情

《採択》

◆地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める陳情

議会から

関係機関への意見書

6月21日の本会議において、議員より提出された意見書4件について、原案可決し、関係機関へ提出しております。